

尾鷲港

三重県県土整備部港湾・海岸課

〒514-8570 津市広明町13番地

☎059-224-2691

URL : <https://www.pref.mie.lg.jp/kowan/hp/>



1. 概況

熊野灘は江戸時代「海の東海道」といわれ、江戸～大阪間を上下する千石船が頻繁に航行した。尾鷲港は、熊野灘のほぼ中央に位置し、リアス式海岸による天然の良港であったので、避難港、風待ち、日和待ち港として繁栄した。尾鷲港自体も、背後に大台ヶ原を中心とする広大な美林を有し、前面にわが国有数の漁場をひかえ漁業が盛んに行われていたため、回船で材木、薪炭を江戸へ、鯨、鰹、鯛などを伊勢、江戸、大阪へ送る一方、尾鷲港周辺は農耕地が少ないため、米や日用雑貨を桑名、白子、伊勢から移入する商港でもあった。しかし回船への荷役は、はしけ船や長い渡り板を使用した自然港のままであった。

明治43年に竣工をみた天満浦船溜りは、当港初の人工港湾施設である。

その後林業及び漁業の発展に伴って港の重要性が増し、大正10年から昭和6年までの第1期工事に防波堤を完成、引き続き昭和6年より昭和11年に至る第2期工事整備を実施し、今日の基礎が完成された。

この間港勢は大いに発展し、昭和19年の東南海地震、昭和21年の南海地震と二度の災害に遭遇して殆どの港湾施設の機能を停止する時期もあったが、昭和25年までには復旧工事を完了し、更には昭和26年には第2防波堤に着工し同31年に竣工、昭和31年7月1日遠洋漁業基地に指定された。

昭和34年9月の伊勢湾台風、続く昭和35年5月のチリ地震津波によって、港湾海岸堤防はもちろん一般市民にも多大の被害をもたらしたが、昭和38年までの5カ年で復旧、嵩上げ等の工事を行い、防潮堤2,425m、防潮壁等2,985mの港をとりまく海水しゃへい壁が出来上がった。昭和37年度より第3

ふ頭整備が始まった。これより先昭和36年から矢ノ浜地区に35万㎡の埋立工事を行い、これに中部電力尾鷲三田火力発電所(753kw)が建設され、昭和38年には東邦石油も進出し、中京地区へのエネルギー供給地ともなった。この結果外航船の入出港が活発となり、昭和39年2月出入国管理港に、同10月検疫港に、昭和41年4月開港の指定を受け、昭和42年6月1日に重要港湾になった。しかしながら、発電施設の老朽化や原油高の影響により、徐々に発電機能が縮小されていき、外航船の入出港が減少したため、平成29年1月不開港となり、平成30年12月19日に中部電力尾鷲三田火力発電所は廃止された。

現在、尾鷲港では、水産業が主体となっており、鰹、マグロの大型遠洋漁業船から中小型の近海沿岸漁船まで出入りして、港は活況を得ている。

また、平成16年には熊野古道が世界遺産に登録されたことで、観光客が増加しており、港において「イタダキ市」が開催され、水産物を求める観光客などが多く訪れている。

一方、尾鷲港周辺地域では東南海・南海地震など大規模地震の発生が危惧されている。

こういった情勢をふまえ、産業・物流拠点としての整備を進めながら、観光レクリエーション拠点、緑地空間の創出、地域の防災拠点となるような整備を進めるべく平成19年7月に港湾計画の改訂を行い、平成24年3月には耐震強化岸壁の整備が完成した。

今後、尾鷲港の整備にあたっては、長期的な尾鷲港の将来像を見据えたうえで、激しく変化を続ける社会経済情勢に柔軟に対応し、尾鷲市のまちづくり計画と連携を図りながら港湾の整備を行っていく予定である。

2. 港勢

入港船舶

種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船								
内航商船	122	53,242						
自航								
その他	4,890	95,364						
合計	5,012	148,606						

種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船								
内航商船			4	5,225	51	41,416	67	6,601
自航								
その他			33	42,900			4,857	52,464
合計			37	48,125	51	41,416	4,924	59,065

最大入港船舶のトン数 60,379総トン(喫水 14.6m)

海上出入貨物

項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出										
輸入										
計										
移出	1,232	100.0								
移入	113,118	100.0	1,845	1.6						
計	114,350	100.0	1,845	1.6						
合計	114,350	100.0	1,845	1.6						

項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出										
輸入										
計										
移出	1,232	100.0								
移入	560	0.5					110,713	97.9		
計	1,792	1.6					110,713	96.8		
合計	1,792	1.6					110,713	96.8		

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出			
輸入			

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路			
内国航路			
計			

3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な 取扱貨物	
	バース名	前面 水深 (m)	延長 (m)	最大 けい船 能力 (DWT)	船 席 数	荷役機械			上屋			
						機械名	揚力 (t)	基数	棟 数	使用 面積 (㎡)		
(公 共)												
第1・第2埠頭	第1岸壁	4.5	120	300GT	2	固定式デリック C	2.0	1	1 (私)	2,200	水産品 々 出漁準備 その他、食料工業品	
	第2岸壁	4.5	73	300GT	2				2 (私)			428
	岸壁	4.5	216	499GT	2							
	第2棧橋	4.5	114	130	2							
	-5.5m岸壁	5.5	91	499GT	2							
第3・第4埠頭	第3岸壁	5.5	80	1,000	1						石材	
	第4岸壁(耐震)	5.5	161	2,000	2						廃棄物	
天満埠頭	天満岸壁	4.5	340	500GT	2						出漁準備	

保管施設		
区分	棟数	面積・容量
野積場	-	7,738㎡
普通倉庫		
1~3類倉庫	-	1,727㎡
危険品倉庫	2	33㎡
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	-	-
冷蔵倉庫	4	2,098㎡
水面倉庫(貯木場)	-	-

泊地		
区分	水深(m)	面積(㎡)
錨泊地	6.0	33,700
	5.5	87,900
	4.5	127,300
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	-	-

港湾関連施設	
名称	延床面積(㎡)
-	-

臨港交通施設	
名称	総延長(m)
臨港道路	3,725
新交通・鉄道	-
ヘリポート	-

4. コンテナターミナルの概要

該当なし

5. マリーナ

該当なし

6. 緑地

該当なし

7. 基地港湾

該当なし

8. ポートサービス

該当なし

9. 関係出先官公署

名称	所在地	電話番号
四日市税関支署尾鷲出張所	〒519-3614 尾鷲市南陽町6番34号(尾鷲地方合同庁舎)	0597-22-1385
名古屋検疫所尾鷲・勝浦出張所	〒519-3614 尾鷲市南陽町6番34号(尾鷲地方合同庁舎)	059-352-3574 (四日市検疫支所)
尾鷲海上保安部	〒519-3614 尾鷲市南陽町6番34号(尾鷲地方合同庁舎)	0597-25-0118
尾鷲建設事務所	〒519-3695 尾鷲市坂場西町1番1号	0597-23-3527

